SANS SECURITY AWARENESS

安全なオンラインショッピング

概要

何百万人もの人々が、それぞれの想いを胸に選りすぐりのプレゼントを買うホリデーシーズンが迫ってきています。多くの人は騒がしい混雑を避けるため、オンラインショッピングで買い物をすることが一般的となりました。このような季節になってくると、サイバー犯罪者の活動も活発になってきます。たとえば、偽のショッピングサイトを作成したり、別の手口を使って人々を騙したりといったものです。このニュースレターでは、安全なオンラインショッピングのやり方や、被害に遭わないための方法について解説します。

偽オンラインストア

サイバー犯罪者は、本物のサイトと見た目が一緒の偽オンラインストアを作成したり、著名なサイトやブランドの名前を使ったりすることもあります。オンラインで「最もお得な商品」と検索したとき、これらの偽サイトの1つが検索結果として表示されるかもしれません。その偽サイトで商品を購入してしまうと、偽造品や盗品が送られてくることがあったり、何も届かなかったりすることもあります。このような被害から身を守るには以下のことを実践してみましょう：

- 可能な限り、過去に購入したことがあるような信頼できるオンラインストアから購入するようにしてください。以前にアクセスして購入したことがあるストアをブックマークしておくと良いでしょう。
- 他のオンラインストアよりも著しく価格が低い場合は注意してください。話がうますぎて少しでも感じた場合は、偽のオンラインストアかもしれません。
- 過去にアクセスしたことがあるサイトであっても、ドメイン名やストア名が微妙に異なる場合は、サイバー犯罪者による偽サイトに誘導されている可能性があります。たとえばAmazonでショッピングをすることが多いかもしれませんが、正しいAmazonのサイトは www.amazon.com であるにも関わらず、文字のoが数字の0に置き換わっている場合があり、それは偽サイトと言えるでしょう。
- 購入しようとしているオンラインストアの名称または WWWアドレス(URL)を検索して、他のユーザによる評価を確認してみてください。評価の中に「詐欺」「二度と関わりたくない」「偽物」といった言葉が並んでいるようなサイトは、偽サイトと言えるでしょう。
- 最後に、オンラインストアで設定するアカウントには、ストア毎に一意のパスワードを設定してください。パスワードが多すぎてパスワードを全部記憶できない？ そのようなときは、パスワードマネジャーの使用を検討してください。

真っ当なオンラインストアに潜む詐欺師

オンラインストアのアドレスなどを検証して、信頼できるWebサイトであると判断できても、実際にショッピングをする際にも注意をしてください。大規模なオンラインストアでは、規模もばらばらな個人や企業が出店していることもあり、一部は不正行為をする意図を持って販売している可能性があります。これは、現実世界においても信頼できる商店とそうではない商店が存在することと同じです。この場合、注文を確定させる前に出店している個人や企業の評価を確認することが重要です。特に、オンラインストアに出店したばかりの個人や、他社よりも著しく安い価格で商品を提供している業者には注意が必要です。また、このようなサードパーティからの購入に関するオンラインストアのポリシーも確認するようにしてください。ポリシーに矛盾する内容が含まれていたり、補償内容について疑念があったりする場合は、オンラインストアに出店している個人や業者ではなく、オンラインストアの直販を利用するようにしてください。

オンラインでの支払い

クレジットカードの明細を定期的に確認し、疑わしい請求があった場合、いつ・どこで決済したものかを特定できるようにしてください。可能であれば、クレジットカードに課金されるたびにメールやショートメッセージ、あるいはアプリで通知するオプションを有効にし、不審な決済を発見したら、すぐにカード会社に連絡してください。また、即時に口座から引き落としをされるデビットカードはなるべく使わないようにしてください。デビットカードで詐欺行為が行われた場合、サイバー犯罪者によって盗まれたお金を取り戻すのは、一般のクレジットカードと比べ、はるかに困難です。別の選択肢は、クレジットカード番号をオンラインストアに開示する必要がない、PayPalのような決済サービスを利用することです。さらにオンライン購入にギフトカードを使用することも検討するとよいでしょう。

合法的なサイトであるという証明にはなりません。ウェブサイトのコンテンツを見て少しでも不審な点がある場合、そのようなサイトを無理に使う必要はありません。信頼できる、あるいは過去に使用したことがある有名なサイトにアクセスするようにしてください。小躍りしたくなるような取引はできないでしょうが、正規品を入手できて、詐欺に遭う可能性をぐっと下げることができます。

ゲストエディタ

Lenny Zeltser氏は、AxoniusのCISOであり、SANS Instituteのコース開発者兼シニアインストラクターとしても活躍しています。Twitterの@lennyzeltserや、zeltser.comのブログで彼の動向を知ることができます。

リソース

ソーシャルエンジニアリング:	http://www.sans.org/u/X7k
ソーシャルメディアであなたを騙す:	http://www.sans.org/u/X7p
パスワードを簡単にする:	http://www.sans.org/u/Xu9

 Editorial Board: Walt Scrivens, Phil Hoffman, Alan Waggoner, Cheryl Conley | Translated by: 小山 裕之, 時田　剛